

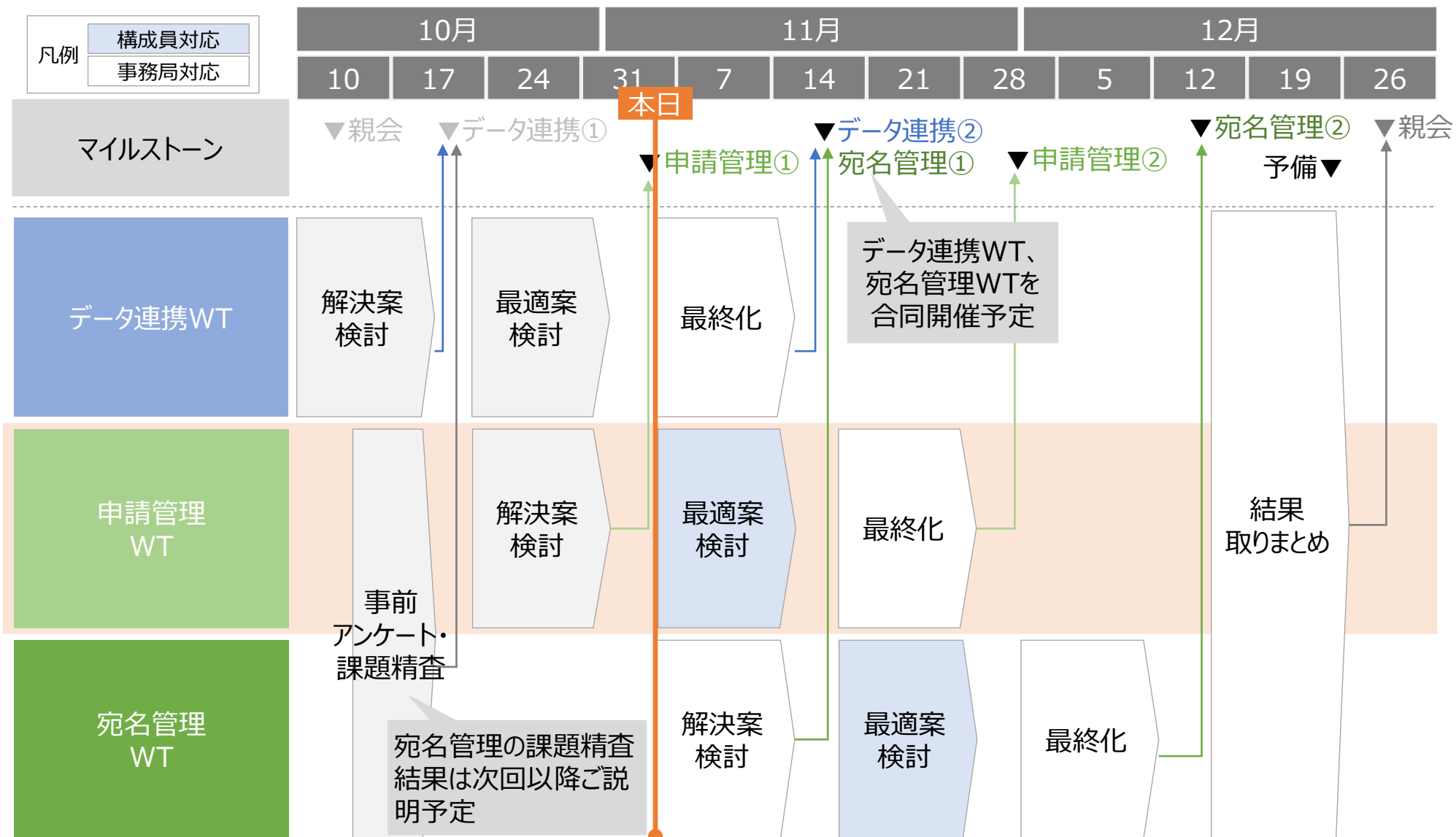
地方公共団体の基幹業務システムの 統一・標準化に関する 共通機能等技術要件検討会 申請管理WT_検討概要

2022年11月

デジタル庁

申請管理WTの検討スケジュール

本日は、申請管理に関する各課題への対応方針（案）について、議論をお願いいたします。



宛名管理、申請管理のスケジュールは変更になる場合があります。

事前アンケート結果（申請管理）

17団体から寄せられた事前アンケート結果を踏まえ、「申請管理に関する仕様に疑義がある点や仕様の定義が不足している点について」で寄せられた意見を含めて課題として取り扱うことといたします。

<申請管理に関する検討課題（候補）に関する意見集計結果（※）>

#	検討課題（候補）	要検討とした事業者数	要検討とした理由（要旨抜粋）	傾向
1	申請管理機能と基幹業務システム間の連携最適化	12	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 申請管理システム標準仕様書で規定された「方式3：入力画面に取込機能実装、方式4：一括取込機能の実装」に代わるインターフェースの検討が必要 ✓ 申請管理システム（総務省仕様準拠）及び基幹業務システムとの役割分担、連携の流れの整理・詳細化が必要 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ ToBe像に関する意見は一部に留まり、令和7度中の移行を見据えたCanBe像に係る具体的な意見が多く寄せられた
2	ぴったりサービスでプリセットが規定されている手続きについての個別APIの定義	9	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 申請詳細情報項目と、基本データリストに基づく基幹業務システムの管理項目と紐づけを行った上で、手続きごとにインターフェースを定義すべき ✓ 申請管理機能は申請データを共通的に管理するシステムであり、プリセットは頻繁に更新されるため、疎結合な形が望ましく、個別APIは不要 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 標準化の趣旨から規定すべきとの意見、プリセット項目も自治体にて可変であること等を踏まえ規定が現実的ではないとの意見に2分された
6	申請管理、宛名管理における運用フローの拡充	10	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 申請管理については業務フローが定義されていないため、共通的な部分については定義すべき ✓ 住民の申請開始から最終的な処理完了までの一通りの運用フローを示すべき 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 申請管理については、現状規定されていない運用フロー並びに機能要件を規定すべきとの意見が多く寄せられた

※ #3「宛名管理のあり方」、#4「住登外者宛名番号管理機能の履歴管理」、
#5「住登外者宛名番号管理機能の排他制御の解除仕様」については宛名管理WTにてご説明予定

申請管理WTで取り扱う課題

事前アンケートの結果を踏まえ、申請管理WTにて、具体的に検討を行う主なサブ課題は以下の通りです。各サブ課題について、事務局から考え方・理由とともに、対応方針案を提示し、構成員のご意見を承った上で、最終化を図る予定です。

課題	サブ課題（主なものを抜粋）
1 ぴったりサービスでプリセットが規定されている手続きの個別APIの要否	<ul style="list-style-type: none">• ぴったりサービスに対応する個別APIの規定の必要性（7件）• ぴったりサービスと基幹業務システムの項目対応の整理（5件）• プリセットが規定されていない手続きの取扱い明確化（1件）
2 申請管理に関する仕様の疑義や不足の解消	<ul style="list-style-type: none">• 申請管理の運用フロー・機能要件の規定（6件）• オンライン申請全体の役割分担・流れの整理（4件）• 申請データ受領時の基幹業務システム側の対応内容の明確化（3件）• 総務省仕様準拠のIF利用の方針明確化（2件）• 番号紐付情報の取得APIの規定（2件）• マイナポータル以外の電子申請システムの取扱いの明確化（2件）• 大量データの取扱い明確化（2件）• 申請データ照会APIの実施タイミングの明確化（2件）
3 申請管理機能と基幹業務システム間の連携最適化	<ul style="list-style-type: none">• 申請処理状況登録APIの追加（10件）• 将来的な住民とのコミュニケーション用APIの規定（1件）
4 その他	<ul style="list-style-type: none">• ガバメントクラウド申請管理システムの提供時期・取扱いの明確化（2件）• 総務省仕様との関係性の明確化（2件）

申請管理に関する課題の対応方針(案)の確認・最適化検討依頼

本日の議論を踏まえ、申請管理に関する各課題の対応方針（案）の確認・最適化検討をお願いいたします。

回答期限	<ul style="list-style-type: none">11/14（月）中
回答方式	<ul style="list-style-type: none">別途配布する意見提出様式に記載し、メールにて回答結果を返却 <p>【返信先】事務局</p> <p>git-local_package@digital.go.jp</p> <p>jp_cons_cas_standardization@pwc.com</p>

次回検討会（宛名管理WT①、データ連携WT②）のご案内

宛名管理WT①、データ連携WT②は11/15（火）10:00から開催いたしますので、ご参集をお願いいたします。

開催日時等

- 開催日時：11/15（火）10:00 ～ 12:00
- 開催方法：オンライン開催（Teams）
※別途URLを送付します

アジェンダ（予定）

<宛名管理WT①>

1. 事前アンケート結果の説明
2. 宛名管理WTとして取り扱う課題の全体像の説明
3. 宛名管理に関する課題の対応方針に関する討議

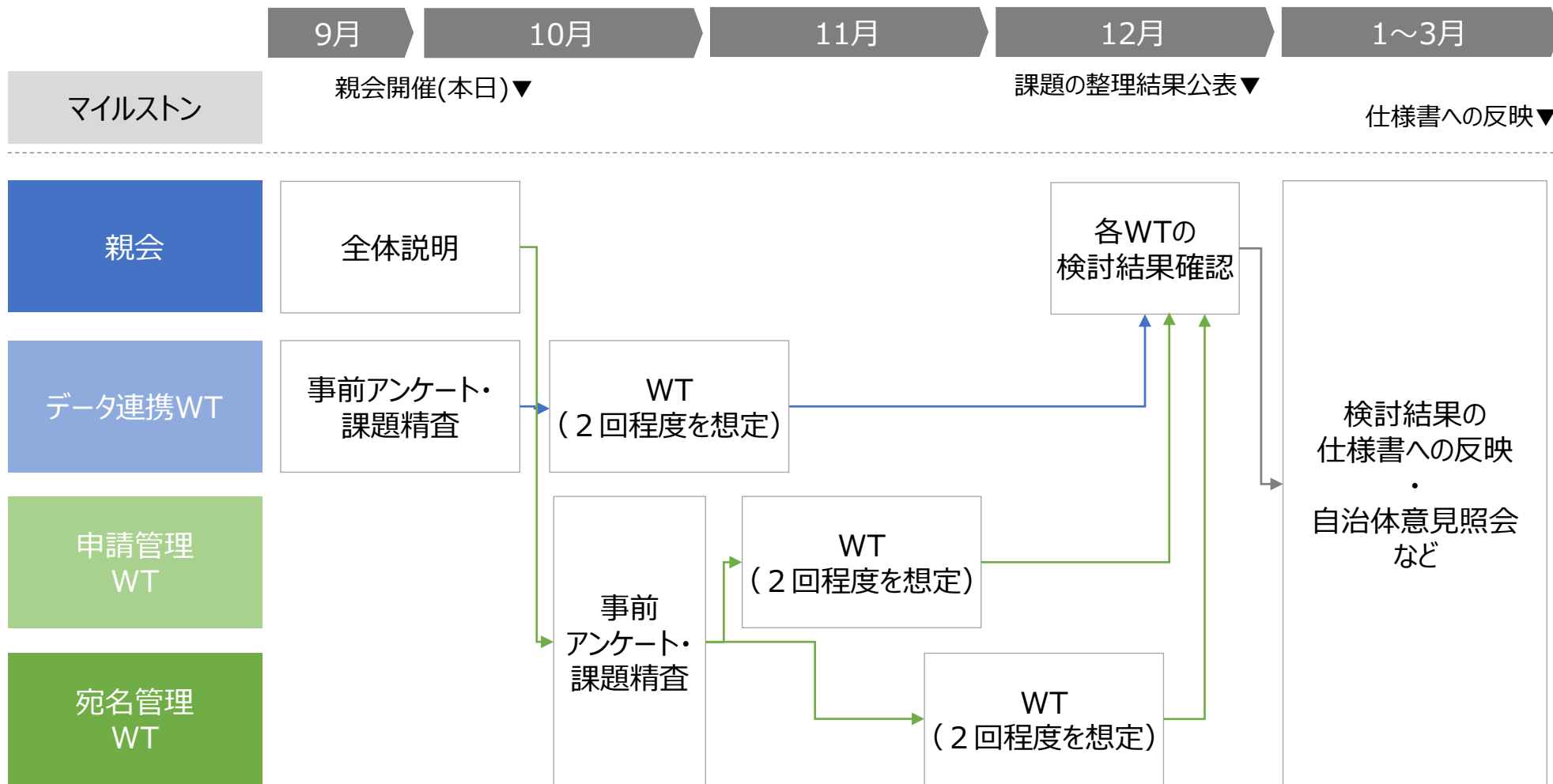
<データ連携WT②>

1. データ連携に関する最適案意見の全体像の説明
2. データ連携に関する課題の最終的な対応方針の説明

参考：全体スケジュール（案）

年内に実装・運用に関する課題の検討結果を公表できるように各WTにて課題検討を行う。また、検討結果のうち標準仕様書の改定が必要なものについて、年度内を目途に反映を行うことを想定している。

データ連携に関しては、課題把握のための事前アンケートを実施し、検討課題を精査。申請管理、宛名管理については、現在の仕様及びその検討経緯を理解いただいたうえで課題の精査を行うべく、本検討会（親会）で検討経緯等の説明後にアンケートを実施する予定。



宛名管理、申請管理のスケジュールは変更になる場合があります。

参考) 各課題の対応方針(案)の整理方法の考え方

各サブ課題の対応方針(案)については、以下の構成で整理を行っています。

資料構成

仕様書の規定

- ✓ データ要件・連携要件、共通機能の標準仕様書の関連箇所を記載

構成員の意見

- ✓ 構成員の意見の要旨を抜粋して記載

1
枚目

考え方

- ✓ 取り扱いを含む、対応方針(案)を導くにあたって、重視した考え方を記載

2
枚目

対応方針(案)

取り扱い

(右に記載)

内容

- ✓ 仕様書の規定する内容・想定する実装パターン等の案を記載
- ✓ 必要に応じて、個別の情報提供依頼を記載

「取り扱い」の補足

選択肢	内容
1-1_仕様書への反映(実装必須機能)	共通機能の実装必須機能として規定の追加・見直しを行う
1-2_仕様書への反映(連携要件)	機能別連携仕様等の連携要件として規定の追加・見直しを行う
2_リファレンス提供(強制力はない)	リファレンスとして提供する(事業者・自治体の判断によって他の対応も許容する)
3_ベンダ・自治体裁量	事業者・自治体の実情を踏まえて検討いただくものとして、特段規定等を行わない
4_既存仕様にて規定済	既存仕様にて規定済の内容として、特段規定等を行わない
9_その他	その他上記1~4に含まれないもの